

## 「衛生環境の整備」

- ★ 多くの方が生活する避難所で、感染症や疾病の発生を防ぐためには、衛生環境に注意する必要があります。特にライフライン停止状況下では十分な注意が必要です。
- ★ 以下の手順で、避難所の衛生環境を整備します。（カードKは 1 枚です。）

## 施設の衛生に関すること

チェック → 継続

☐

避難所の屋内外にごみ集積場所を設置し、清潔な使用を徹底します。

- \* 分別収集や生ごみの密封などを徹底し、集積場所は常に清潔に保ちます。
- \* 避難所内の集積場所には溜め込まず、こまめに外の集積場所に捨てるようにします。

※裏面参照

チェック → 継続

☐

居住組を単位として当番を設け、各共有スペースを交代で清掃します。

- \* トイレなど衛生的な使用が必要な共有部分を中心に、各場所に清掃当番を設けます。
- \* 一部の方に負担が集中しないよう工夫し、避難者全員の協力で清掃を行います。
- \* ペットスペースは、ペット連れ避難者が清掃を行います。（シートF 参照）

チェック → 継続

☐

居住スペースは、換気や清掃を徹底します。

- \* 日に 1 回、各人や居住組ごとに換気や簡単な清掃を行うよう呼びかけてください。

## 避難者の衛生に関すること

チェック → 継続

☐

避難者の「手洗い」と消毒を励行し、風邪などの感染症を予防します。

- \* 水や消毒液が調達できるまでは、施設にある消毒液などを使用して対応します。
- \* 水の確保についてはシートJ 参照。

チェック → 継続

☐

食品や食器の衛生管理を徹底します。

- \* 炊き出しなどの際は手の消毒を行い、作った物はなるべくすぐに消費します。
- \* 水が出ないうちは、できるだけ使い捨ての食器を使用したり、ラップを食器にかぶせて使用するなどし、洗浄せずに衛生面を確保する工夫をします。

チェック → 継続

☐

風呂は、もらい湯の奨励や入浴施設の情報提供などにより対応します。

- \* 入浴設備の確保は困難なため、避難者ごとに、知人宅などへのもらい湯を奨励します。
- \* 銭湯など入浴施設が復旧した場合は、避難者に情報提供を行います。

カードKは 1 枚で終了です。チェックした項目を、避難所閉鎖まで継続してください。

## ごみ集積場所設置の留意点

- ◇ ごみ集積場所は、以下のことに留意し、施設の利用計画などを参考に設置します。
  - \* 収集車が出入り可能な場所
  - \* 居住スペースに匂いなどがもれない場所
  - \* 調理場所など、衛生に注意を払わなければならない所から離れた場所
  - \* 直射日光が当たりにくく、なるべく屋根のある場所
- ◇ ごみ集積場所の使用ルールを作成し、周知します。（ルールは活動編P 36 参照）
  - \* 居住スペースに溜め込まず、こまめに集積場所に捨てること。
  - \* 個人や世帯で出たごみは、自分達で責任を持って捨てること。
  - \* 分別や、密封を行い、清潔に保つこと。 など

## 清掃当番の振り分けなど（例）

	トイレ	ごみ集積場	調理室	更衣室	・・・	居住スペース ペットスペース 喫煙場所
○月○日	居住組 1	4	3	2	1	各利用者
○月●日	居住組 2	1	4	3	2	〃
○月□日	居住組 3	2	1	4	3	〃
○月■日	居住組 4	3	2	1	4	〃
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・

## 節水時の衛生環境の工夫（例）

- \* 水道が停止している場合や、物資が十分に調達できない状況下では、調理用水や飲料水の確保を優先してください。
- \* 十分な水が確保できるまで、節水しながら、衛生に気をつけましょう。

### ◇ 手洗い用

- \* 水が十分に確保できない場合は飲料水などを優先し、消毒液の使用により手指の衛生を徹底します。（飲料水を手洗いに使用する場合は、残量をよく確認。）
- \* 物資の消毒液が調達できるまでは、施設の消毒液を借りるなどして対応します。

### ◇ 食器洗い用

- \* 使い捨ての紙食器を使用するなど、食器洗い用水の節水を心がけます。
- \* 紙食器が十分に無い場合は、ラップをかぶせて使用するなど、食器の洗浄を省き衛生面を確保する工夫をする。  
（紙食器やラップなどは、持ち寄りが可能な避難者に協力を呼びかけましょう。）